

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対総合研究事業）
（分担）研究報告書

循環器病リハに対する慢性期・維持期リハのレビュー作成（脳卒中）

分担研究者 下堂蘭恵 国立大学法人鹿児島大学・医歯学域医学系・教授

研究要旨

現在わが国では、循環器病リハビリテーション(循環器病リハ)は、脳卒中と心血管疾患や心不全を含む心臓病を対象とした急性期から回復期へのリハが中心となっている。一方で、維持期リハの実施状況、有効性については、エビデンスが著しく不足しており、その実態は不明である。脳卒中慢性期（維持期・生活期）におけるリハビリテーション診療（主に治療・介入）の有効性に関する文献レビューを行い、現行の脳卒中リハの課題を検討し、維持期リハ指針の作成に寄与することを目的とした。さらに、最終的に、脳卒中リハにおける研究成果の解釈について、特に慢性期（維持期・生活期）においては、海外との環境因子[保険制度(自己負担割合)や生活様式、住宅環境]の違いや、研究のセッティング(目的や対象)について配慮が必要と考察した。

分担研究者

橋本 洋一郎・済生会熊本病院・脳卒中センター・特別顧問

A. 研究目的

脳卒中慢性期（維持期・生活期）におけるリハビリテーション診療（主に治療・介入）の有効性に関する文献レビューを行い、現行の脳卒中リハの課題を検討し、維持期リハ指針の作成に寄与する。

B. 研究方法

前年度報告書で詳細を発表した。

（倫理面への配慮）

前年度報告書で詳細を発表した。

C. 研究結果

前年度報告書で詳細を発表した。

D. 考察

前年度報告書で詳細を発表した。

E. 結論

前年度報告書で詳細を発表した。

F. 健康危険情報

前年度報告書で詳細を発表した。

G. 研究発表

1. 論文発表

脳卒中の維持期（生活期）リハビリテーションの効果に関するナラティブレビュー

「循環器病の慢性期・維持期におけるリハビリテーションの有効性の検証のための研究」班

脳卒中 46 (1) 87-119, 2024. (Jpn J Stroke 46: 87-119, 2024)

2. 学会発表

総括に同じ

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし